

栄

調

節

池

学

習

帳

さかえ ちょうせつちがくしゅうちょう



ちょうせつち

Q1: 調節池ってなぜ必要なの？

【昔】

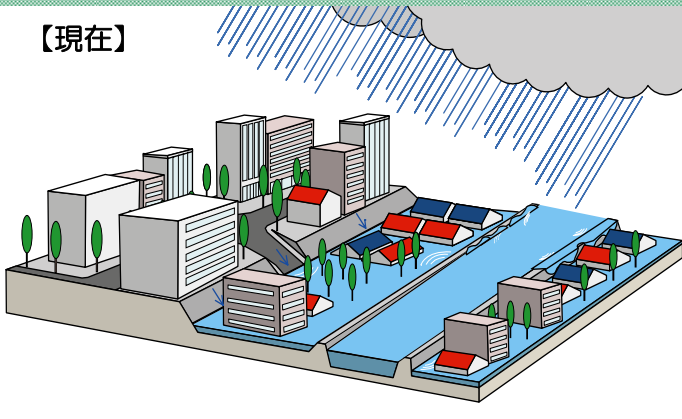


■大雨の時（昔）

昔、森や田んぼが当たり前にあった頃は、降った雨は地面の中にゆっくりしみこんで地下水となって、時間をかけて川へ流れていきました。



【現在】



■大雨の時（現在）

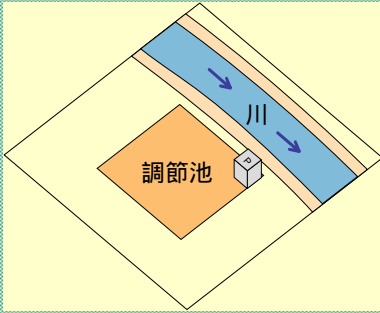
しかし、現在は、昔森や田んぼだった所に家が建ったり、新しく道路ができたりして、降った雨が地面の中にゆっくりしみこまないで、道路のわきのコンクリートの溝などを通して一気に川に流れ込みます。

すると、川から水が溢れて洪水になってしまうこともあるのです。



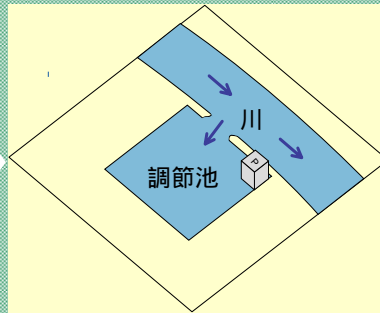
そこで、川の水を一時的に池の中に貯めることで、洪水を減らすことができます。そしてこの池のことを川の水を調節する池ということで“調節池”と呼んでいます。

ちょうせつち やくわり
Q2：調節池の役割って？



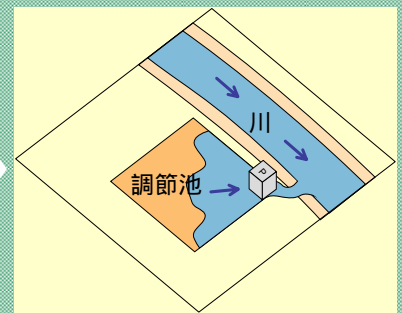
■ 普段の状態

普段は川からは水が入らないため、多目的な広場として利用ができます。



■ 大雨により川が増水した状態

川から調節池に水が入ることによって、一時的に川を流れる水の量が少なくなり、洪水を防ぐことができます。



■ 川が普段に戻った状態

雨が止み、川を流れる水の量が少なくなったら、ゆっくりと調節池の水を川に戻してあげます。

じっさい さかえちょうせつち
 ～それでは実際に栄調節池を見てみよう！～



えつりゅうてい
 大雨の時はこの越流堤から第二大場川の水が調節池に流れ込みます。



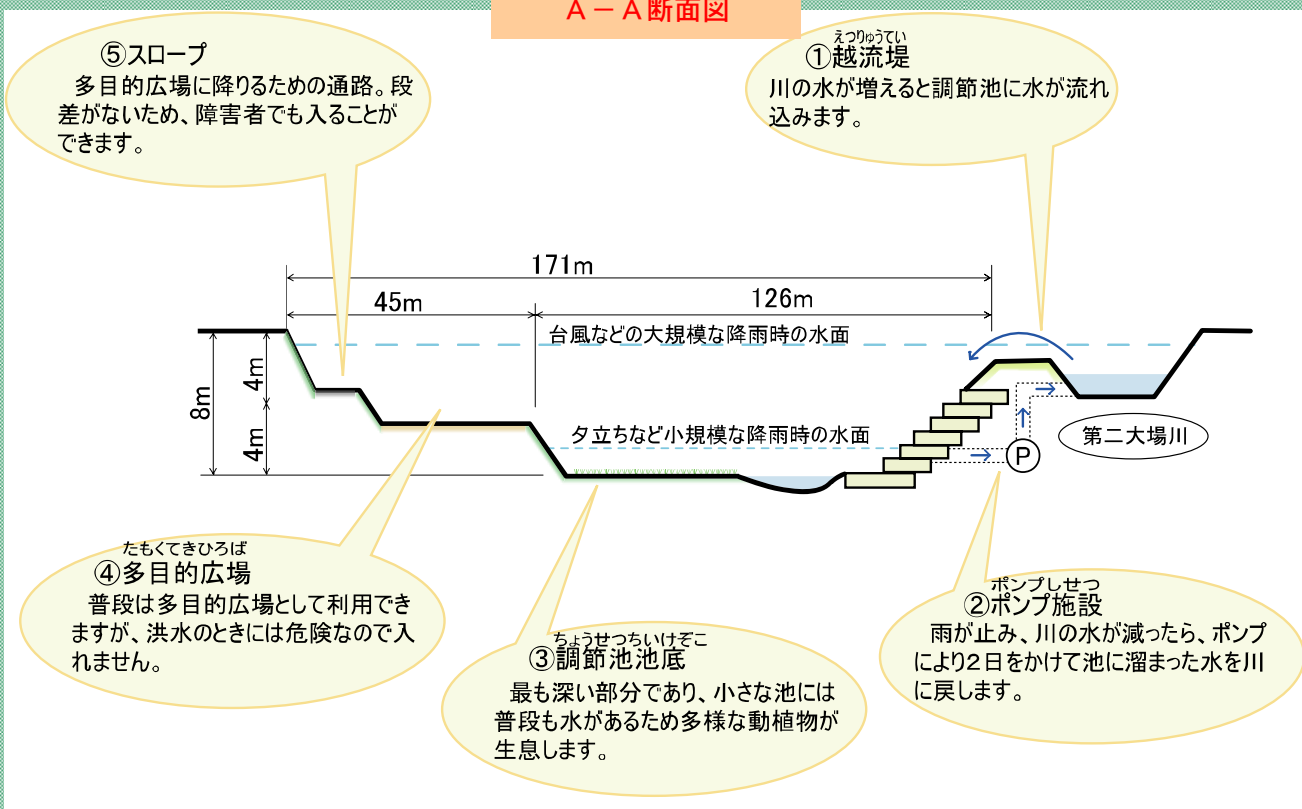
池の中の水を川に戻してあげるポンプがポンプ施設の中にあります。

Q3：栄調節池の具体的機能を教えて？



面積：1.9ha(東京ドームのグラウンド面積の約1.5倍)
 容積：80,000m³ (小学校のプール約205杯)

A-A断面図



たもくてきひろば
Q4：多目的広場っていつでも使えるの？

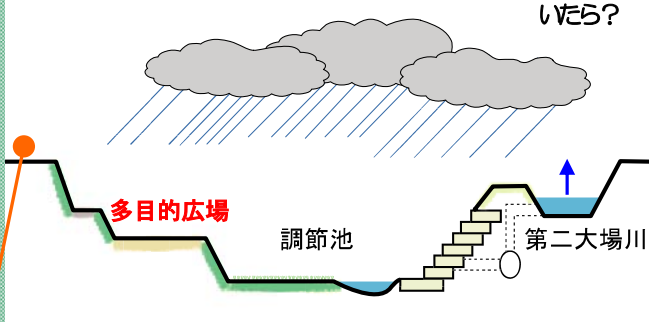
洪水の起こる恐れが少ない晴れた日には、基本的にはいつでも使うことができます。
(ただ右のような時は使わないで！)

こんな時は調節池に近づいてはいけません！

- ① 現在雨が降っている時
- ② 天気予報で雨の予報が出ている時
- ③ 雨の止んだ直後
- ④ 潮の満ち引きで、川の水位が高い時

洪水時の調節池は実はとっても危険な場所

■雨の降り始め



雨の降り始めの頃は、川の水位はすぐには上がりません。

少し危険

雨が強くなると川の水位が徐々に（時には一気に）上がってきます。

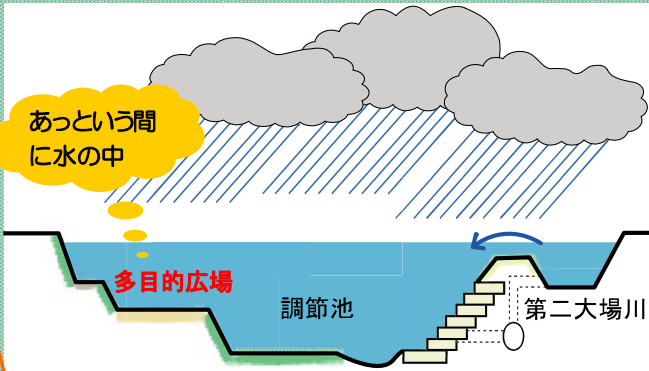
とっても危険

川の水位が越流堤より高くなると、一気に調節池の中に水が入ってきます。

絶対近づかない

調節池はすぐに水で一杯となり、川の水位と同じ高さになってしまいます。

■洪水時



危険なことをどうやって教えてくれるの？



カメラやマイクで危ないことを知らせてくれます

映像(カメラ)

警報(マイク)



川の水位が上がって危ない時は制御室から避難するよう警報を流します